

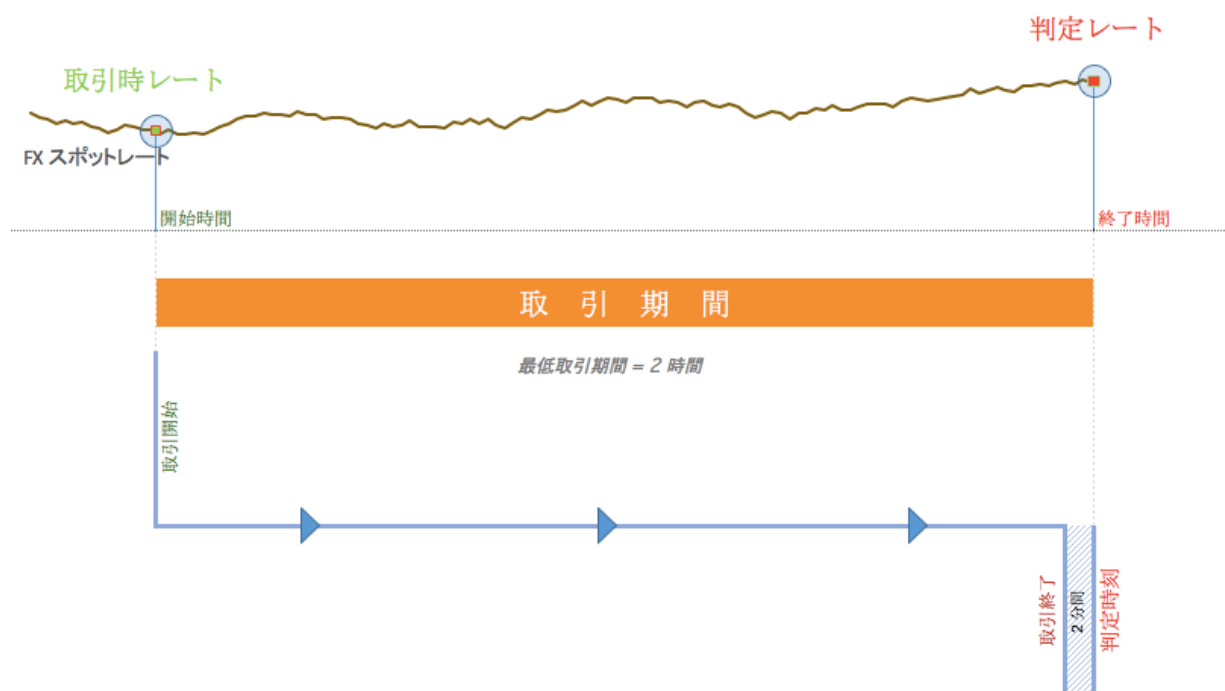


取引期間・バリア・決済

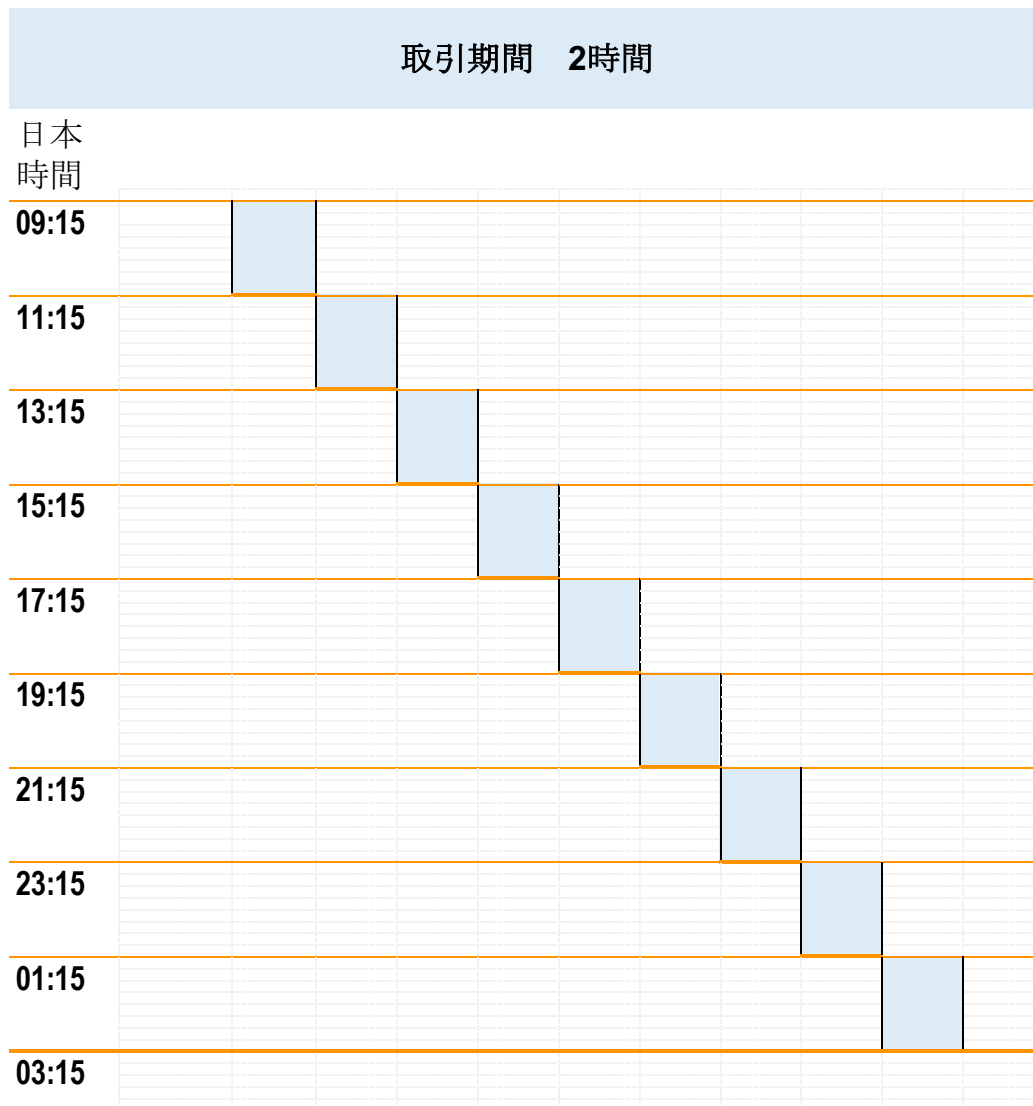
取引期間

店頭バイナリーオプション取引は監督官庁の規制対象となっており、全ての登録第一種金融商品取引業者は一定の取引時間を設けた取引を提供しております。以下は最低取引期間と判定時刻のルールに基づいた基準に準じる取引期間の設定についての説明となります。

- 最低取引期間は 2 時間と定めています。また、回号の満期(判定時刻)から次の回号の満期(判定時刻)まで少なくとも 2 時間の間隔を開ける必要があります。
- 取引期間とは取引開始時間から判定時刻までとなります。
- 各回号の取引可能時間は、取引期間開始時から取引終了時間までとします。
- 取引終了時間とは判定時刻 2 分前までとします。取引終了時間を過ぎると新規購入注文&売却取引を行えません。
- 判定時刻とは、判定レートが権利行使条件を満たしているかを判定し、購入されたオプションにペイアウト発生の有無を判定される時刻のことです。



多くの店頭バイナリーオプションを取扱金融商品取引業者は、2 時間のみの取引期間を提供していますが、当社 Binary 株式会社では 6 時間の取引期間はじめ、長期トレーディングやヘッジ目的にも活用できる長期取引時間も個人投資家の皆さまに提供しております。当社の長期取引可能な回号は、他にも 1 週間、1 ヶ月、四半期、そして 1 年と複数の長期取引期間を提供しております。



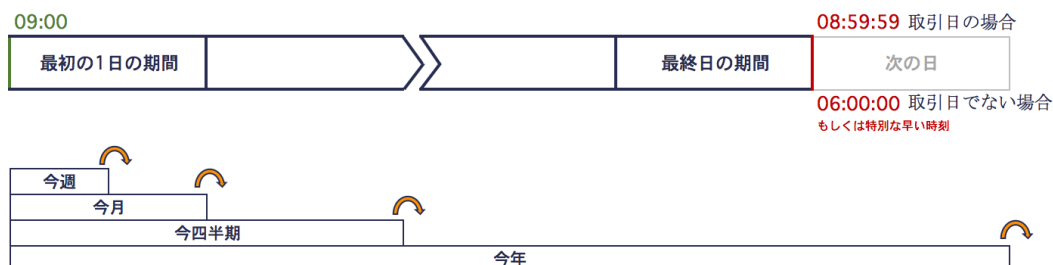
取引期間 2 時間と 6 時間の最後の回号の取引終了時間も午前 3 時 15 分です。取引可能時間は、米国市場の終了時間（日本時間の土曜日 3 時 13 分）まで続きます。場合によっては、米国市場の終了時間によって変更される場合があります。



取引期間 6時間									
日本 時間									
09:15		09:15							
11:15									
13:15									
15:15		15:15	15:15						
17:15									
19:15									
21:15			21:15	21:15					
23:15									
01:15									
03:15				03:15					

当社が提供している長期取引期間(1 週間、1 ヶ月、四半期、1 年)は、長期的な視点で取引をしたい、または長期的にわたりヘッジ目的を主とした取引を考えている個人投資家には適しております。長期取引期間では、ラダーオプションのみならずタッチ/ノータッチとレンジオプションの END-IN/OUT(ヨーロッパスタイル)、STAY-IN/BREAK-OUT(アメリカンスタイル)も提供しております。

長期取引期間、週初め最初の回号での取引開始時間は午前 9 時スタートで、最終回号の取引終了時間は翌日の最初の回号の始まる 1 分前(午前 8 時 59 分)となっております。但し、翌日が通常取引日でない場合、取引終了時間は午前 6 時 00 分となり、また米国市場の終了時間によっては早まる場合もあります。これらの長期取引期間の回号は 1 日、1 週間、1 ヶ月、四半期、そして 1 年と全体的な相場の流れを掴むのに最適です。



1つの回号が終了するとすぐに次の回号が開始される為、それぞれ長期取引期間、1週間、1ヶ月、四半期、そして1年の満期時の原資産の価格を予測して取引することが可能になります。

バリア価格

店頭バイナリーオプション取引する上で1つの特徴はバリア価格(権利行使価格)です。バリア価格は、取引期間開始時に合理的な根拠に基づき設定しております。

各回号の取引開始後にバリア価格(権利行使価格)を追加することはありません。

当社ではバリア価格の設定は原資産価格から上下9本ずつ提供し、中央のバリア価格は取引開始時刻のスポットレートと同等です。ラダーHIGHオプションに設定された上下9本のバリア価格は、基本値を基にそれぞれの設定間隔に用いる数値から算出されます。

キーポイント:

- 店頭バイナリーオプション取引は、特定の取引期間及び回号のみ取引が可能です。
- 取引期間は最低2時間です。
- 判定時刻の間隔は最低2時間です。
- 各回号の取引可能時間は、取引期間開始時から取引終了時間までとします。
- 取引可能時間は、各回号の取引開始時間から判定時刻2分前まで売買可能です。
- バリア価格(権利行使価格)は各回号の取引開始時に合理的な根拠に基づく方法で計算され設定されます。
- バリア価格の追加はありません。



取引期間・バリア・決済

次のセクションはバイナリーオプション取引と決済に関わる過程や特徴について説明します：

購入

購入金額	<p>購入金額 = 取引価格 × ロット数</p> <p>購入金額（オプション料）はオプションプレミアムとも言われます。</p> <p>買い手がバイナリーオプションを購入した時、売り手に購入金額（オプション料）支払い、その後買い手に購入金額は返金されません。</p>
取引価格と成行注文	<p>取引価格はオプションの売り手によって提示され、買い手がその価格で購入するかどうかを決定します。バイナリーオプションは相対取引の為、買い手が売り手の取引価格に購入意思を示し、売り手がその取引価格に同意するか、もしくは取引価格の変更によって拒否するか決定します。</p> <p>この取引方法は成行注文と言われ、買い手が市場価格で購入することを示します。</p>
スリッページ	<p>お客さまからいただいた注文は当社取引サーバに到達した順に約定処理が行われます。お客さまの「注文時の表示価格（注文価格）」と「当社サーバに注文が到達した時の価格（受注時基本価格）」「実際の約定（約定価格）」の処理の間に価格差が生じることあり、これをスリッページと呼びます。取引不成立の場合、「注文された価格」が無効となり取り消す場合があります。売り手と買い手は価格差を一方、もしくは両方のカウンターパーティーで「注文された価格」と「実際の約定価格」の価格差を受け入れることが度々あります。</p> <p>オプションの売り手はこの事をルールに記載する必要があります。又、市場価格からの変動幅に基づき取引成立するか否かを判断する必要があります。</p>

決済

判定	<p>ある条件を満たしてオプション取引を取引期間内に売却取引により決済する場合を除き、オプション取引は取引期間の終了時に決済されます。このことを判定と呼びオプションの買い手へのペイアウトが発生するか否かを判定する時刻ことです。</p>
判定レート	<p>ペイアウトが発生するか否かを決定する為に、判定レートが必要になります。判定レートとは判定時刻ちょうどに提示した取引価格ことです。判定時刻ちょうどに価格情報が得られない場合、判定直後の価格になります。</p> <p>通常、判定レートは将来の参照情報の為、記録して保管されます。又、それらは定期的取引価格の中からランダムに抽出し、第3者の取引価格情報と比較し確認されます。</p>
決済とペイアウト	<p>判定過程の中で、判定レートはオプション買い手の予測が正しいか否かを決定する為に使用します。もし、ペイアウトが発生する条件を満たしている場合は、売り手が買い手に対してペイアウト金額を支払います。</p> <p>また、TOUCH オプションのようなアメリカンスタイルオプションの場合は、取引期間中に条件を達成していれば判定時刻前に、売り手はペイアウト金額を買い手に支払いを行います。</p>



取引期間・バリア・決済

売却取引

売却

万が一、買い手が購入されたオプションを判定時刻前に売却したい場合、購入されたオプションを売却することができます。買い手は売却取引を行って購入されたオプションを判定時刻前に決済することができます。

日本においては、オプションの売り手は売却価格を提示(オプションの価値がなくなる限り)することが義務となっています。

売却取引を利用することで、個人投資家は利益を確定させる、または損失を限定させることが可能です。

売り手は買い手が同意した売却金額を支払います。その後の決済やペイアウトは発生しません。

キーポイント:

- 購入金額(オプションプレミアム) = 取引価格 × ロット数
- オプションの買い手は取引成立時に売り手に対して購入金額を支払います。
- オプションの購入金額は例え予測が正しくても買い手には返金されません。
- 全ての注文は成行注文となります。
- スリッページはお客様の「注文時の表示価格(注文価格)」と「当社サーバに注文が到達した時の価格(受注時基本価格)」「実際の(約定)」の処理の間に価格差が生じることにより発生します。
- 判定はペイアウトが発生するか否かを決定する事です。
- 判定レートはペイアウトが発生するかを判定する価格で、同一条件の店頭バイナリーオプションであっても当社の提示判定レートが他の取扱金融取引業者の判定レートと異なる場合があります。
- 判定時刻に権利行使条件を満たすと、ペイアウトの発生が確定、もしくは TOUCH オプションのようなアメリカスタイルオプションが取引期間内に条件を満たすと判定時刻前にペイアウトが確定します。
- 利益確定や損失を限定させる為に購入したオプションを取引期間内に売却することが可能です。



平成30年2月13日制定